



昭和34年4月18日制定

あさひ

学校便り10月号
平成28年9月30日
横浜市立旭小学校

「大玉ちゃん」がつなぐもの

学校長 加藤 和之

今年の9月は例年になく雨や台風が多く、大きな被害を受けた地域もありました。自然災害の怖さと、その対応について考えさせられました。被害を受けた方々に、心よりお見舞いを申し上げます。子どもたちにとっても、思いっ切り体を動かさない日が続きました。10月は秋晴れの日が続いてほしいものです。

学校では、15日（土）に予定している「運動会」の練習や準備が本格的になってきました。職員室でも、練習の際の子どもたちの姿についての話題が増えてきたように思います。運動会が近付くと、子どもたちだけでなく、職員室も活気づくように感じるのは不思議です。

旭っ子の 思いを楽しくつなげ 大玉ちゃん！

これは、今年度の全校競技「大玉運び」の種目名です。9月の代表委員会で子どもたちが話し合っ
て決めました。代表委員の子どもたちは、各クラスの意見を持ち寄り、細かな言葉にまでこだわって
真剣に話し合いました。このように、本校では全校競技の種目名を代表委員会で話し合っ
て決めてい
ます。全校競技は、みんなで力を合わせて取り組むただ一つの種目であり、運営も子どもの手で行い
ます。ですから、「得点種目」ではありませんが、「たかが大玉運び」と考えてはいけません。「大玉ち
ゃん」が「旭っ子の思い」を「つないでくれる」のですから。

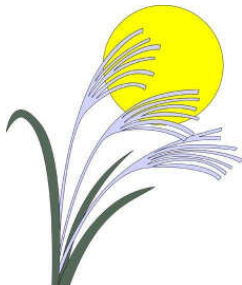
この直径約1mの紅白の「大玉」を昨年度から「大玉ちゃん」と呼んでいます。この名前は、「大玉」
がみんなの「思い」を乗せて運んでくれるということで、「親しみ」を込めて付けたということです。
「大玉」を単なる運動会の「用具」としてではなく、「思い」を運んでくれる「仲間」「友達」として
考えたのでしょう。そう考えると、「大玉ちゃん」という名前の響きから、何だか「フワッ」と優しい
風が吹いてくるような感じがします。

さて本校では、今年度「たてわり」を取り入れた運動会を行うことにしました。演技や競技などは、
発達段階が異なるので従来通り各学年で行いますが、その他の部分では、準備や練習の段階から今ま
で以上に「あさひタイム」の「たてわりグループ」で行います。運動会当日、見えやすいところでは
子どもの「座席」が「たてわりグループ」ごとになります。そうすることで、お互いに声をかけ合い
やすくなるはずで
す。低学年の子が困った時には、高学年がアドバイスすることもできます。子ども
にとっては、「〇年生のお兄さんお姉さん」ではなく、「〇〇さん」と名前と呼べる関係になるはずで
す。このように、より深い「異学年交流」をすることで、低学年の子どもは高学年の子どもの良いと
ころから学ぶことができると思います。高学年の子どもは、自分のことだけではなく、たてわりグル
ープみんなのことを考えなくてはなりません。他を思いやる優しい気持ちや、規範意識の醸成につな
がると思うのです。

5月号でお知らせしたように、今年度は「つながり」を大切にしながら学校運営を進めています。
子ども同士がつながり、豊かに学び合うことを目指しています。「たてわり」を取り入れた運動会も、
そのための一つの試みです。15日の運動会が、今後さらに子ども同士が「つながる」ためのステッ
プになればと考えています。

「たてわり」を取り入れた初めての運動会で、子どもたちはどんな「思い」を「大玉ちゃん」に乗
せるでしょうか。そして、「旭っ子」のいろいろな「思い」が膨らんだ時、「大玉ちゃん」は、きっと
1～6年生みんなをしっかりと「つなげて」くれるはずで
す。

15日（土）、秋晴れの下一生懸命に頑張る子どもたちに、たくさんのご声援をお願いいたします。



10月の取組目標

生活目標

落ち着いて生活をしよう

保健目標

目を大切にしよう

清掃目標

廊下や手洗い場をきれいにしよう

給食目標

食事の前後の過ごし方を工夫しよう